

## 8-4-11 港湾専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 港湾専門委員会の開催

専門委員会の開催：6回／年（奇数月）

WG への参加：随時

#### (2) 施設研修会の企画

港湾に関わる技術者の技術力向上を目的に、日本海側の主要港湾の一つである金沢港と伏木富山港を訪問し、港湾施設の利用や地域活動への役割など意見交換できる研修会を企画した。

しかし、今年度はコロナウイルス感染拡大の影響から、移動手段や企画の縮小など再検討を行ったが、現地で実施することは困難と判断し、開催は中止した。

#### (3) 講演会の開催

港湾関連業務に従事する技術者の技術力向上を目的に、近年の港湾システムの高度化や技術開発の動向として「世界の自動運航船の開発動向」や「既設重力式岸壁の増深新工法」について、また日本の港湾インフラや技術基準類の海外への展開に関する状況について、それぞれの有識者による講演会を開催した。

■開催日：令和2年12月16日（水）

■会場：主婦会館プラザエフより配信

（参加152名：オンライン受講）



Web 配信による講演会開催状況

今年度の講演会はコロナウイルス感染予防対策として初めてのオンライン講演形式となったが、これまで12年間の開催の中で最も多い参加人数であった。

会員アンケートを分析すると、全国から会場へ集まって参加する必要がなくweb視聴できる容易さも要因の一つであったことから、有意義なオンライン開催となった。

以下に、講演テーマと講演者を紹介する。

#### ① 自動運航船の開発動向について

国土交通省 総合政策局 技術政策課 港湾保全政策室 齋藤 輝彦 室長

#### ② 重力式係船岸に適用する可塑性グラウト増深工法について

一般社団法人 日本埋立浚渫協会  
増深工法ワーキンググループ  
小笠原 哲也 副座長

#### ③ 港湾分野における日本の技術・基準類の国際化・海外展開

国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾施設研究室  
宮田 正史 室長

#### (4) 照査特別 WG 活動への対応

港湾分野におけるエラー事例の収集と分析（新たに9事例を追加）、品質セミナー用のテキスト更新、オンデマンド配信した品質セミナーでの講演収録への対応。

#### (5) RCCM 更新 CD-ROM 教材の見直し

港湾技術基準改訂に伴い、「港湾及び空港」部門のRCCM更新CD-ROM教材の専門技術内容と問題の見直しを実施した。

#### (6) 各課題に対する意見照会等への対応

当協会内の維持管理対策WGや関連する協会（港コン協や設計士会）への対応。

### 2. 次年度の活動について

港湾施設研修会と技術講演会の開催やRCCM教材更新、エラー防止検討や品質セミナーへの協力等の活動を予定している。

（港湾専門委員会委員長 川嶋 憲）